

人間と生活・社会の理解【異文化コミュニケーション】

担当教員	阿部 祐子	所 属	国際教養大学
対象学年/開講時期	第1学年/前期	単位数(時間数)	1単位(15時間)
履修の目的 多様な文化背景に対応できるコミュニケーション能力を身につけ、異文化理解力、異文化受容度を高める。			
授業の形式 主として講義形式で行い、グループワーク、演習も取り入れ学習する。			
成績評価の基準等 出席・発表・テストを総合的に評価する。			

【教科書・参考図書①②】

番号	書 名	発行所
①	改訂版 異文化トレーニング ボーダレス社会を生きる	三修社
②	外国人看護・介護人材とサステイナビリティ持続可能な移民社会と言政策	くろしお出版

【授業計画】

授業回数	履修主題 ・ 履修内容	教科書	担当教員
第1回	コース紹介、なぜ異文化コミュニケーションが必要か		阿 部
第2回	文化とは、コミュニケーションとは		阿 部
第3回	言語コミュニケーション		阿 部
第4回	非言語コミュニケーション		阿 部
第5回	価値観、異文化コミュニケーション		阿 部
第6回	異文化適応		阿 部
第7回	プロジェクト発表		阿 部
修 了 試 験			

学生へのメッセージ

社会の多様化が進む中、看護の場、通常の生活の場における異文化コミュニケーションの重要性を自分自身に引きつけて考えられるように、一緒に学んでいけたらと思っています。